

まじめなかね

Vol.184 発行: 2024.1.15 出雲市立総合医療 C 病院だより編集委員会

年頭のごあいさつ

出雲市病院事業管理者 杉山 章



あけましておめでとうございます。2024 年が幕を開けましたが、年明け早々に衝撃的なニュースが飛び込んできました。能登半島を中心とした地域での地震災害と羽田空港の航空機衝突炎上事故です。地震は津波を伴い、甚大な被害をもたらしましたが、改めて自然の底知れない力、自然災害の恐ろしさを痛感させられました。心を痛める毎日です。お亡くなりになった方々へお悔やみを申しあげるとともに、被災された方々には心よりお見舞いを申しあげます。1 日も早い復興を願うばかりです。

昨年は、4 年間続いた新型コロナウイルス感染症がようやく 5 類移行となってインバウンド需要も増え、経済にも活気が出てきた年でした。イスラエルのガザ侵攻、トルコ・シリア地震など心を痛めるニュースもありましたが、WBC での侍ジャパン優勝、藤井竜王の史上初 8 冠達成など元気づけられる明るい話題もありました。

当センターの昨年を振り返ってみますと、前半は新型コロナの重点医療機関として入院が必要な患者さんの受け入れ、発熱外来、ワクチン接種など、前年度からの継続的な役割を果たす一方で、かかりつけ医的な役割も含めて、一般診療も行ってきました。コロナ 5 類移行後は、ケアミックス型病院としての特徴を生かし、地域包括ケアシステムの一部を担うべく、高度急性期病院の後方支援、診療所や施設との連携など出雲市東部地域における中核的病院としての役割を果たしてまいりました。今後は出雲医療圏において回復期病床が不足し、在宅医療の需要の増加が見込まれていることから、当センターとしては、回復期リハビリテーション病棟の機能強化や 365 日リハビリの実施など具体的な目標に向けて取り組んでまいりたいと考えています。特に、在宅医療は当センターの最重点課題と捉えていますが、令和 4 年 4 月に在宅療養支援病院の施設基準を取得後は、利用者数が増加傾向にあります。現在、24 時間の訪問診療・訪問看護と訪問リハビリを提供していますが、病状に応じて入院による治療へ移行することにより、切れ目のない医療を提供しています。今後はマンパワーの増強を図りながら、増加するニーズに対応していきたいと考えています。

予防医療は、超高齢化社会を迎えた日本では、健康寿命を延ばす意味でもますます重要な位置を占めています。当センターは平成 23 年に健診センターを稼働し、病気を早期発見する二次予防を中心に地域の皆様の健康の維持に寄与してまいりました。現在、さらに多くの方々にご利用いただけるように、同センターの拡張に向けて準備を進めているところです。新たにレディースフロアを開設し、女性に快適な環境で健診を受けていただけるスペースを設ける予定です。さらに、健康づくり増進のための積極的な医療情報の提供など、当センターとしての役割を果たしていきたいと思ひます。

医療従事者には、病気を持った一人の人間として診るという姿勢が求められますが、病気を治すだけでなく、ご本人やご家族の意向も踏まえ、患者さんの生活全体を視野に入れた「治し、支える医療」を提供する必要があります。職員一人ひとりがこのことを自覚して業務にあたり、患者さんに寄り添った医療を提供していきたいと思ひます。前途多難な 1 年の幕開けとなりましたが、今年がみなさまにとって飛躍の年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願ひ申しあげます。

健康のひろば付近に「令和6年能登半島地震災害義援金」募金箱を設置しています。

ご存じですか？認知症のこと



認知症基本法が施行されました

認知症の人が尊厳や希望をもって暮らせる社会の実現を目指す「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が2024年1月1日に施行されました。これは認知症に特化した初の法律で2023年6月に制定されたものです。団塊世代といわれる方々全員が75歳以上となる2025年には認知症の人が700万人、高齢者の5人に1人に上ると推計されています。この法律の「共生社会」とは、様々な人が、すべて分け隔てなく共に暮らしていくことのできる社会を言います。国民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮して、互いに尊重し支え合いながら、ともに生きていける活力ある社会をつくることを法律の目的としています。

現時点で、実際の生活の中で何か大きく変化が起こるわけではありませんが、法律では「国民の責務」が定められています。国民の誰もが認知症に関する正しい理解を深めていくこと、また共生社会の実現に向かって努力しましょう、といったことも記されています。私たち一人ひとりが、認知症を「自分事」として認識し、認知症について積極的に勉強したり、認知症の人の社会参加を応援するといった心構えを持つことが、今、私たちにできることではないかと考えています。

認知症看護認定看護師 竹内 純子

当院では、認知症ケアチームの専門職メンバーが、交代で各自の専門性を活かした内容で認知症に関連した内容のポスターを作成し健康のひろばに掲示しています。今回は過去に掲示した内容の中から、“薬剤師版”を紹介したいと思います。ぜひ、参考にしてみてください！

「認知症の方の薬の管理」

こんなことはありませんか？

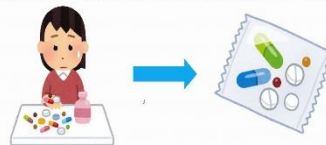
- ① 薬を飲んだことを忘れる
- ② 薬の数が多くてきちんと飲めているか不安
- ③ 飲み込みにくくなった

などなど



解決策として…

- ① 薬を一包化する
飲んでいる薬を1つの袋にまとめることができます



かかりつけ薬局で対応してもらえます

また、薬の種類を減らせないか一度主治医に相談してみましょう

② お薬カレンダーの使用

イラストのように曜日、飲むタイミングごとにセットできます

いつ、どの薬を飲めばいいかわかりやすく、
飲み忘れも防げます

【購入場所】

病院の売店、ドラッグストア、調剤薬局、

100円均一など

(値段は100円～1000円台と幅広くあります)



③ 飲みやすい形の薬への変更

- ・唾液や少量の水で簡単に溶けるもの
- ・ゼリー状のもの
- ・こなぐすり
- ・貼るタイプ

〈その他〉

市販で服薬ゼリーやオフラートもあります！
これらは薬の作用や吸収に影響を与えません。

【購入場所】

ドラッグストア、調剤薬局など



令和5年度(2023)出雲市職員採用試験

総合医療センターでは、次のとおり出雲市職員採用試験（医療職）を実施します。
採用試験の詳細は、病院総務課にお問合わせいただくか、当院ホームページをご覧ください。

1. 試験の種類、試験区分、受験資格、採用予定人員

試験の種類	試験区分	採用予定人員	受験資格	
			年齢	経験・免許・資格等 (いずれも学歴は問いません。)
大学卒業程度試験	薬剤師	若干名	昭和48年4月2日以降に生まれた人(満50歳まで)	薬剤師免許を有する人、又は令和6年3月末までに行われる国家試験により当該免許を取得する見込みのある人。
短大卒業程度試験	看護師	若干名	昭和58年4月2日以降に生まれた人(満40歳まで)	看護師免許を有する人。
	訪問看護師	若干名		

2. 受験申込書受付期間

受付期間	備考
随時	ただし、採用予定人数に達した段階で終了します。

3. 試験の日時・試験会場

試験日	試験会場
応募者と調整のうえ、随時行います。	出雲市立総合医療センター

4. 試験の科目及び内容

作文試験、面接試験

5. 問い合わせ、申込書提出先

出雲市立総合医療センター 病院総務課
電話 0853-63-5113



出雲市立総合医療センター
ホームページ

会計年度任用職員を募集します

総合医療センターでは、次のとおり令和5年度会計年度任用職員を募集します。
詳細は、病院総務課にお問合わせいただくか、当院ホームページをご覧ください。

1. 採用職種、採用予定人数、職務内容、勤務日数・時間等

採用職種	採用予定人数	職務内容	勤務日数・時間等
訪問看護師	2名	訪問看護業務	132時間又は17日以内/月
看護補助者	若干名	食事、入浴、排せつの介助、ベッドメイキング等	132時間又は17日以内/月
作業療法士	1名	作業療法士業務	平日8:30~15:30

2. お問い合わせ 出雲市立総合医療センター 病院総務課 (電話0853-63-5113)